

西暦 2022 年 7 月 10 日 第 2 版

九州大学病院ならびに九州がんセンターで胸腺上皮性腫瘍に対して 手術を受けられた患者さんの

情報・試料の提供を受けて研究を実施することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

[研究課題名] 胸腺上皮性腫瘍における新規治療ターゲットの同定

[当院の研究責任者] 呼吸器外科 上妻由佳

[研究の背景]

胸腺腫および胸腺癌を含む胸腺上皮性腫瘍は縦隔腫瘍の 20%を占める最も頻度が高い疾患ですが、発症頻度は 10 万人につき 0.44-0.68 人と稀な疾患です。胸腺上皮性腫瘍は多くが無症状であり、5 年無再発生存率は正岡 I 期、II 期では 90%を超えるものの、III 期では 67%、IVa 期で 38%、IVb 期で 48%と進行期の予後は不良です。胸腺上皮性腫瘍に対して根治が望める唯一の方法は手術ですが、再発・切除不能な胸腺上皮性腫瘍に対する治療の選択肢は限られており、新たな治療標的、治療法の同定が望まれます。

[研究の目的]

本研究では、次世代プロテオミクス「in vitro proteome-assisted MRM for protein absolute quantification(iMPAQT)」法を用いて胸腺上皮性腫瘍における新規治療ターゲットの同定を目的としています。プロテオミクスとは、細胞や組織におけるタンパク質の構造や機能を総合的に研究するものであり、病態の解明や新たに治療標的となりうるものを同定するのに役立ちます。今回用いる「iMPAQT」法はあらゆるタンパク質の存在量を正確に測定できる新規テクノロジーで、従来の方法と比較して、短時間で多数のタンパク質を高い精度で測定することが可能です。本研究では、手術により切除した検体を用いた網羅的なプロテオミクス解析により、胸腺上皮性腫瘍の病態を解明し、治療標的を同定することで、今後の新たな治療戦略の開発の一助となりうると考えます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胸腺上皮性腫瘍（胸腺腫ならびに胸腺癌）の患者さんで、西暦 2005 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 5 月 31 日の間に九州大学消化器・総合外科ならびに九州がんセンタ

—呼吸器腫瘍科で手術を受けた方（胸腺腫 10 人、胸腺癌 20 人）を対象とします。

●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ試料・情報

西暦 2005 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 5 月 31 日までの検体・カルテ情報を使わせていただきます。

検体：九州大学病院 消化器・総合外科ならびに九州がんセンター 呼吸器腫瘍科で保存している手術時に採取した凍結標本検体（匿名化处理済）を当院へ提供

カルテ情報：

診断名、手術時年齢、性別、Performance Status（患者さんの日常生活の制限の程度を示す全身状態の指標）、併存疾患、喫煙歴・指数、血液検査（全血算、生化学〔腫瘍マーカーを含む〕、および凝固）、画像検査（胸部単純X線、CT、MRI、およびPET/CT）、術式（アプローチ法・切除範囲）、手術時間、術後入院期間、術後合併症、術後病理診断、病理病期、術前・術後治療、再発・死亡までの期間、iMPAQT法によって網羅的に解析したタンパク質（iMPAQT法は九州プロサーチLLPにて施行）

●情報の管理

研究で取り扱う情報ならびに検体は九州大学大学院、九州がんセンターより手渡しにて当院に提供されます。検体は、検査委託会社である九州プロサーチ LLP で解析が行われます。解析後に残った検体は共同研究機関へ返却いたします。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しません。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：九州医療センター 呼吸器外科 上妻由佳

●その他の共同研究機関：

九州大学大学院 消化器・総合外科 教授 吉住朋晴

九州がんセンター 呼吸器腫瘍科 科長 岡本龍郎

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料・情報には個人情報が含まれますが、共同研究機関から九州医療センターへ提出する場合には、共同研究機関の担当者がお名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表の管理は、共同研究機関の担当者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である九州大学大学院 消化器・総合外

機密性 2

(臨床研究に関する公開情報/多施設実施用)

科 教授 吉住朋晴、九州がんセンター 呼吸器腫瘍科 科長 岡本龍郎が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

呼吸器外科 医師 上妻由佳

810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700